

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 ローソン					
代表者名	氏名	竹増 貞信	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	東京都品川区大崎1-1-2 ゲートシティ大崎イーストタワー					
主たる事業の分類	大分類	I 卸売・小売業				
	中分類	58 飲食料品小売業				
主たる事業の概要	コンビニエンスストア「ローソン」のフランチャイズチェーン展開					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	7,054	6,841	7,286		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	14,206	13,779	14673		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	32		46		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	90		83		

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 29 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

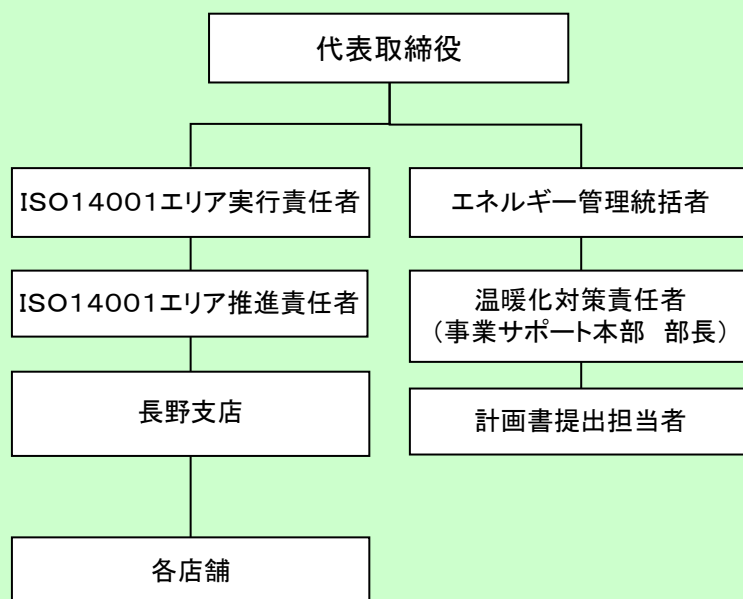
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.lawson.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- (1) 本計画における3ヶ年の目標としては、原単位あたりのエネルギー使用量を計画期間3%以上(年1%程度)削減することを目標とする。
- (2) 既存店の省エネ対策として、一定年数を経過した空調機、冷凍機を高効率な機器へ順次入れ替えを実施する。
- (3) 新店については省エネ性能の高い機器を標準的に導入し、温室効果ガスの増加を抑制する。
- (4) 創エネ施策として、一部の店舗に太陽光発電システムを導入する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

エリアサポート部長を実行責任者、CSV推進担当を推進責任者として、実行計画の策定とその進捗管理を実施。



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・ CSV小委員会/毎月
- ・ コンプライアンス・リスク管理委員会会議/四半期

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	14,206	t-CO ₂	売上高	258	単位	億円	
28年度	調整後排出量	14,096	t-CO ₂	基準原単位	55.06	t-CO ₂ /	億円	
目標年度	目標排出量	13,779	t-CO ₂	目標原単位	53.40	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.01	%		
目標設定に関する説明	<p>毎年事業の拡大（店舗数の増加）によるCO₂排出量の増加を避けることができません。よってCO₂排出原単位で、計画期間3%以上（年1%程度）の削減を目指します。具体的にはCO₂排出量の大部分を占める店舗の電気使用量を削減するため以下の取組を実施します。</p> <p>○既存店 一定年数を経過した冷凍機、空調機の入れ替え</p> <p>○新店 省エネ性能の高い機器を標準的に導入する</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する（以下同じ）。
第一年度	排出量	14,673	t-CO ₂	売上高	264.39	単位	億円	
	調整後排出量	14,531	t-CO ₂	原単位	55.50	t-CO ₂ /	億円	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(3.29)	%	削減率	(0.80)	%		
排出量等の増減理由	省エネ機器への計画的な入替を実施するも、店舗数の増加・店内厨房設備の拡大にともない、売上低迷により排出量の増加結果であった。							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	売上高		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	売上高		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	90	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	83	t-CO ₂	削減率	7.77	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	「140303」冷凍機交換…▲1,250kWh/月	29-31	180	29	21.8
2	エネ起	「その他」空調機交換…▲1,052kWh/月	29-31	150	29	18.4
3	エネ起	「その他」防露ヒーター…▲183kWh/月	29-31	20	29	0
4	エネ起	「150201」看板LED化…▲331kWh/月	29-31	50	29	5.8
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光(自家消費用2kW設備、年間発電量約1900kW試算)	kW	98	0	96		

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	110		142		
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	180	14,206	182	14,673				
合計	180	14,206	182	14,673				

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	0	0		
合計	0	0	0	0
自動車総数	32	46		
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	通勤には特別な事情がある場合を除き、公共交通機関を利用するよう社内ルールを徹底している。
公共交通機関の利用促進	通勤には特別な事情がある場合を除き、公共交通機関を利用するよう社内ルールを徹底している。
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	1998年12月
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ローソングループ「マチの幸せ募金」による森林整備(植樹、育林等)の実施 ○お客さまと共にCO2オフセット運動や省資源(レジ袋削減)の実施 ○食品リサイクル ○廃棄物の分別推進による排出量削減 ○物流の共同配送による効率化
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ローソングループ「マチの幸せ募金」による森林整備(植樹、育林等)の実施 ○お客さまと共にCO2オフセット運動や省資源(レジ袋削減)の実施 ○食品リサイクル ○廃棄物の分別推進による排出量削減 ○物流の共同配送による効率化
第二年度実績	
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	H26-H28冷凍機入替4台(▲1250kWh/台)、空調機入替6台(▲1052kWh/台)、看板LED化31台(▲331kWh/台)稼働	201.1
その他		